

平成28年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立文化会館

指定管理者名：公益財団法人 河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	S	S
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	S	S
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	S	S
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	S	S
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	73,271,000	78,419,660	(5,148,660)	80,934,235	
	自主事業収入	91,133,000	77,423,804	13,709,196	67,081,269	
	物品販売収入	460,000	968,526	(508,526)	806,894	
	手数料収入	2,692,000	3,775,086	(1,083,086)	3,251,809	
	指定管理料	299,399,000	298,910,189	488,811	316,576,722	
	その他収入	5,011,000	7,748,635	(2,737,635)	7,044,140	
	収入総額	471,966,000	467,245,900	4,720,100	475,695,069	
支出	人件費	122,461,000	115,790,861	6,670,139	120,657,774	
	事務費	922,000	1,377,470	(455,470)	976,005	
	管理費	143,627,000	157,831,885	(14,204,885)	161,288,500	
	自主事業経費	124,564,000	117,870,137	6,693,863	112,945,409	
	光熱水費	76,198,000	55,167,503	21,030,497	61,182,657	
	リース料	3,357,000	1,920,600	1,436,400	1,171,620	
	その他	763,000	1,352,400	(589,400)	1,410,200	
支出総額	471,892,000	451,310,856	20,581,144	459,632,165	0	
収支差額	74,000	15,935,044	(15,861,044)	16,062,904	0	

※ 収支報告については、市立文化会館及び市立市民交流センターの2館合算で表示しています。

3. 総合評価

自己評価
<p>文化振興事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業は7つのカテゴリーに分類し、それぞれの事業目的ごとに着実に取り組み、成果を上げることができた。文化振興事業全体の入場者・参加者数は前年を上回った。 ・「マイタウンオペラ」、「ミュージカル」、「世界民族音楽祭」など、一からプロデュース・制作をおこない、企画への参画やプロの演奏家と共演するなど多くの市民に文化芸術活動に参加する機会を創出した。また、SNSやメディア掲載により取り組みや地域の魅力を発信することができた。 ・「ミュージカルスクール」をはじめとする年間通して実施する4つの教室を運営した。また、練習意欲を高めるため、発表会の開催や各イベントへの出演など多くの成果発表の場を提供した。 ・アーティストの発掘、育成を目的に、「ロビーコンサート」、「新人演奏会」を実施した。若手演奏家のステップアップを図ることができた。 ・映画上映会、ポップスやジャズコンサート、落語など、幅広いジャンルの公演を実施し、市民や地域の方に多くの鑑賞機会を提供した。 ・市内学校でのアウトリーチ事業は、新たに大学連携(大阪教育大学)を開始するとともに、学習・体験の意味を強め、より深い内容で取り組んだ。また、福祉施設関係では、多くの音楽鑑賞の機会を提供した。実施回数及び参加者・入場者数が前年比増となった。 ・ラブリートニュースやホームページを活用した広報等により、事業を広く周知することができた。「ラブリートホールブログ」では自主制作公演の練習風景等、タイムリーな情報発信をおこない、様々な芸術文化活動を身近に感じていただけるよう努めた。また、プレスリリース等の活動により、各事業が新聞、テレビ等のメディアに取り上げられた。 <p>施設管理及び貸館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料収入については、2年連続で増収を達成することができた。(前々年度差額 +754千円、前年度差額 +72千円) ・施設利用率については、リハーサルルームの100%(日別)をはじめ、その他の施設においても高い利用率を維持できた。 ・利用者アンケートの集計結果で受付職員の対応等の評価項目8項目において、高評価をいただくことができた。 ・経年劣化で耐用年数を大幅に超過していた高圧ケーブルの一部更新及び高圧機器不良箇所を更新をおこなった。高圧ケーブルについては、大きな被害を招く恐れのある外部から建物内までのケーブルに限定し更新工事をおこない予防保全に努めた。 ・館内空調設備について、平成26年度から冷却水ポンプ及び冷温水ポンプのオーバーホールを順次実施しており、最後の1台のオーバーホールをおこなった。空調設備の予防保全をおこなうと共に、設備寿命の延長に努めた。(設置台数:各2台) ・消防法令を遵守し、来館者の安全確保のための防火・防災に努めた結果「防火優良認定証」を獲得。 <p>法人運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士と顧問契約を結び、2ヶ月に1回程度外部監査をおこない適正な経理業務の執行に努めた。 ・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めた。 ・弁護士と顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めた。
<p>市評価</p> <p>文化振興事業等</p> <p>世界民族音楽祭において、おおさか河内材を使用するなど自然豊かな当市の魅力を市内外に向け発信できている。また、マイタウンオペラへ地域の若手を起用したり、ミュージカルの公演回数を増やし子ども達に出演機会を多く与えるなどの、新しい試みを行っている点が評価できる。アウトリーチ事業については、連携するアーティストを新たに開拓するなど、市内小中学校及び福祉施設へ出向き、幅広い市民へ文化・芸術を体験する機会を提供出来ており評価できる。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>施設管理については、経年劣化による事故防止を目的とした予防保全に努めており評価できる。また、貸館事業については高い利用率を維持し、利用者アンケートの結果も良好であり評価できる。</p> <p>法人運営</p> <p>公認会計士、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めており評価できる。</p> <p>文化会館と市民交流センター両施設の指定管理者となっているため、今後も一体的かつ円滑な管理運営と相乗効果による多様な事業展開を期待する。</p>